

会 議 録

会議の名称	那珂川町子育て支援推進協議会		
開催日時	平成 29 年 8 月 8 日(火) 15:00 ~ 16:00	開催場所	役場本庁舎 2 階 第 1 会議室
出席者	<p>1. 委員 秋峯委員、緒方委員、江島委員、大谷委員、足立委員、萬委員、椛島委員 Winters 委員 (欠席者)江島委員、飯田委員</p> <p>2. 町(事務局) 中村子育て支援課長、長田子育て支援課長補佐兼子育て支援担当係長、 藏菌こども応援担当係長(子育て支援担当職員)永野</p>		
配布資料	<p>資料 1-1: 那珂川町子育て支援事業計画(平成 29 年度改訂版)</p> <p>資料 1-2: 認定こども園、小規模保育施設利用定員について</p>		
<p>議題及び審議の内容</p> <p>1. 会長あいさつ</p> <p>2. 那珂川町 子ども・子育て支援事業計画改定案について (説明：事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の協議会で決定した推計値をもとに、「那珂川町 子ども・子育て支援事業計画」の改定案と文言の変更点について協議を行った。 <p>3. 認定こども園、小規模保育施設利用定員について (説明：事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年に認定こども園に移行する私立那珂川第一幼稚園の利用定員と、小規模保育施設の現在の進捗状況と、設置場所・利用定員について協議を行った。 <p>【質疑・意見等】</p> <p>(委員) 第一幼稚園の定員については、幼稚園定員をそのままに保育園定員を増やすということか。</p> <p>(事務局) 認定こども園移行後、教育部分は 150 人の定員だが、今の幼稚園定員が 270 人の為、定員は減る。保育部分を受け入れることで、教育部分が減ったかたちとなる。</p> <p>(委員) 幼稚園と保育園を分けずに全体的に受け入れることで定員は増えるのではないか。逆に減るのか。</p> <p>(事務局) 第一幼稚園の定員は現在 270 人に定めているが、実際の在園児数は 160 人ほどであり、そもそも幼稚園のニーズが減ってきているので、定員を実際の在園児数に合わせたかたちとなる。幼稚園部分の定員を実態に合わせて受け入れることが目的。</p> <p>(委員) 昔と今でニーズが変わったとのことか。確かに、昔は抽選で幼稚園に入りたくても入れないことがあった。</p>			

(事務局)今のニーズに合わせたところで認定こども園に移行した。

(委員)第一幼稚園の保育士の人数は足りているのか。

(事務局)第一幼稚園と事前に協議したなかでは、現在の先生は幼稚園の教諭免許と保育士資格の両方を持っている方が多く在籍しており、内部で研修を行いながら対応していくと伺っている。

(委員)認定こども園になって、園庭の使い方は教育部分、保育部分で分けるのか。

(事務局)できる限り教育と保育を一緒にしたところで同じ学年として扱う。しかし、幼稚園部分の園児で早く帰る園児もいれば、保育部分の園児で遅く帰る園児もいる。遅く帰る園児については、学年を問わず同じ教室で保育することについては検討中。

園庭の使い方については、分けずに使用する想定。

(委員)小規模保育施設について、今回の2園ができれば待機児童は解消するのか。

(事務局)解消に向けて取り組みを行っていく。待機児童が多いのは1.2歳児、今回3歳児も待機がでているが、3歳児に関しては認可保育園・届出保育園にも協力いただいている。しかしながら、面積要件や保育士不足の関係で待機児童解消できる定員確保に至っていない。1.2歳児に関しては、小規模保育施設ができることによって待機児童解消に少しでも対応できる想定。

(委員)場所的にも駅前にあるのは良いと思う。

(事務局)町としても、駅前周辺と片縄地区を優先地域としていた。特に、片縄地区には教育・保育施設が無い状況であった為、今回の選定ではちょうど手が挙げたというのがありがたい話だった。

(委員)駅に近いところでは青葉桐の花保育園がありますね。

(事務局)保護者からよく話があるのは、福岡市内で勤務されている方は、送り迎えも新幹線の時間に合わせている方が多くいるので駅の近くは非常に利便性が良いだろうと想定して優先地域にした。

(委員)待機児童解消されるだろうとの予測については、なかなか見通しが立たないと思うがどうか。

(事務局)現状の待機児童に対するアプローチという部分では一定の効果はあると思う。しかし、保育ニーズの掘り起こしになる可能性もある以上、待機児童が解消されるとは断言できない。

(委員)人口を増やすためにもこのような施策を行って、子どもを受け入れますという姿勢がとても重要なので、今回の小規模保育施設開設については明るい情報だと思う。

(委員)第一幼稚園が認定こども園にかわるにあたって給食施設は新しく作るのか。

(事務局)給食室を増築する計画になっている。

(委員)部屋の広さは決まっているのか。

(事務局)0.1歳児については一人当たり3.3㎡、2歳児は1.98㎡が面積の基準。小規模の募集にあたってはその面積を満たすように募集をかけた。

(委員)待機になった児童はどうしているのか。

(事務局)仕事を続ける場合は届出保育施設に預けて、認可保育所の決定を待っている方もいれば、育児休業を延長するかたちで対応されている方もいる。

(委員)待機児童のすべてが届出保育施設に行っているわけではないのか。

(事務局)全ての待機児童が届出保育施設を利用しているわけではないが、あえて届出保育施設に預けている保護者もいる。

(委員)那珂川町に24時間預かりの保育所はあるのか。

(事務局)24時間預かっている施設は、町が把握している限りでは無い。認可保育所だと延長保育を含めても19時までだが、届出保育施設の場合は19時以降も柔軟に対応している場合もある。

(委員)同和問題等の研修を町で行っていると思うが、認可保育所や幼稚園の先生も参加されるのか。

(事務局)ミリカローデンで行っているような人権の講演会はできれば参加するようお願いしているが、町で行っている研修についての参加はない。しかしながら、内容が保育所に関するものについては那珂川町保育所連盟で研修を企画したり、幼稚園、保育所、小学校で研修を企画して参加しているとい

うことはある。

(委員) 児童館のイベント等の参加状況はどうか。

(事務局) 毎日行っているイベントについては定員に若干満たない程度の人数。不定期に開催するイベントで要望が多いものについては定員を超える場合もある。

6. その他

(1) 次回以降の開催日程について

(説明:事務局)

- ・第3回会議の時期は9月の中旬頃を予定している。日程調整は別途行う予定。

(2) 議事録の公開について

(説明:事務局)

- ・会議録については、事務局が作成し会長に確認していただいたうえで公開する予定。
⇒公開について、異議なく了承